



『観察力を活かす』

公益財団法人岩手県予防医学協会 幼老統合事業部 次長
産業保健相談員 小山 正範

昨年2月に約25年務めた部署から異動となった。これまでは職場における化学物質管理の一端を担う環境測定部門に従事していたが、保育園の事務室に机を構えることになるとは、非常に驚きでいっぱいであった。環境測定部門では、空気中の有害物濃度を測定して、働く環境が適切であるか否かを評価する作業環境測定が主たる業務であった。それが一変し、全く異なる福祉部門で対応できるか不安であったが、保育士や介護士、放課後児童支援員の業務を見ていると、作業環境測定士と共通点があることに気付いた。

作業環境測定では、気中濃度を測定するだけではなく、濃度を裏付ける作業状況を観察する。同じ作業であっても、作業員によって取り扱う状況が異なったり、設備の稼働状況が異なったりと空気中の濃度が変わる要因は様々であり、何が違うのか、どのように取り扱っているのか、観察することが非常に重要であり、依頼者に説明して作業環境管理や作業環境改善につなげていく。福祉現場も同じで、保育士は園児の様子、行動を観察し日々の成長過程や体調の変化を把握している。介護士も高齢者の状態の変化を見逃さない。さらには、園児の保護者や家族に状態や変化等を報告して支援する。観察が重要であることは見事に同じである。

さて観察とは、物事の真の姿を間違いなく理解しようとよく見ること（『広辞苑』第7版）で、「観察力」となると、ある人とならない人では、気付く内容や量は大きく変わる。類似する「洞察力」は、観察した事柄から相手の体調や気持ちなど、「目に見えない部分」を見抜く力を示すことから、観察力ありきの洞察力となる。この観察力をどのようにして磨いていくか。子どもたちや五輪アスリートなどのビジョンケアを行う内藤貴雄氏によれば、※オプトメトリストは視力低下の原因を、脳の衰えにあると考え、脳を活性化させるためには、外部からの刺激が必要不可欠であると伝えている。知的な機能を指す「認知機能」は、外部の情報を収集し、記憶して、推理・判断を加えて処理する過程と定義されており、五感（視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚）という感覚器から得る刺激のことである。人間が受け取る外部からの刺激のうち、約80%が視覚からということを見ると、視覚がいかに脳と関係が深いかわかる。五感を鍛えることは観察力を磨くことにもつながるようである。

一つの分野に長く携わることは、やりがいという意味で非常に大きな味わいがある。一方で、多種の分野につくことは経験が豊かになり、これも大きな糧である。今回の異動が、自身の大きな経験となったと感じるとともに、若手職員に観察力を磨くことの大切さを伝えていかなければならないと気付かされた。

※オプトメトリストとは目の機能を検査して、視力の問題や目の異常を見つけて眼鏡等を取り扱う視力保護のスペシャリスト。

岩手産業保健総合支援センターだより

令和3年1月1日発行 No.44

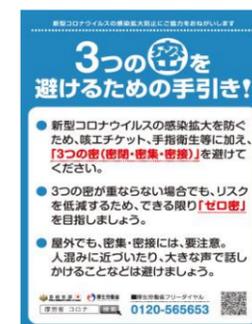
研修会について、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、当面の間、下記の通りとさせていただきます。

※10月開催の研修会から、研修会の参加者は岩手県内在住、もしくは県内就労の方に限定させていただきます。

また、今後の状況によっては、研修会に参加される皆様の健康・安全面を考慮し、延期又は中止となりますので、開催の有無につきましてはホームページ等でご確認ください。

- ・受講者の定員の2倍以上を収容できる会場を確保しております。
- ・座席は指定し、座席間の距離を離します。
- ・研修会場での換気は、施設ごとに対応が異なります。
 - ①ビル管理法対応施設の場合は、特別な対応は行いません。
 - ②上記以外の施設は、30分に1回の換気、又は、窓等の開放を行います。
 参考：「3つの密を避けるための手引き」
- ・研修会場には手指消毒液を設置します。入場前には、**手指の消毒**をお願いします。
- ・**マスクの着用**をお願いします。（※忘れた方には、配布します。）
- ・発熱・咳などの諸症状がみられる方の参加はご遠慮願います。
- ・参加お申込みの皆さまへ「受講票」をお送りします。ご記入の上、研修日にご持参いただきますようお願いいたします。

（※様式は変更する場合があります。）
※受講者から感染者が出た場合、保健所等から参加者名簿の提供を求められた際には、参加者名簿を提供することとなりますので、受講はその同意が得られる方に限ります。



1. 研修会の開催予定

岩手産業保健総合支援センターでは、産業医、衛生管理者、衛生推進者、健康管理担当者、産業看護職、人事労務管理担当者、管理職、事業主等の「産業保健スタッフ」の活動を支援するため、健康対策や労働衛生対策、メンタルヘルス対策等に関する研修会を開催しております。ぜひ、ご参加ください。

お申込み・お問合せは、当センターまで、**電話 019-621-5366/FAX 019-621-5367** 又はホームページ（<https://www.iwates.johas.go.jp/>）のメールフォームからどうぞ。

通常通り、会場に集合して研修会を開催いたしますが、**1月15日、1月19日、2月12日**の研修会は **Web 配信**もすることとなりました。詳細については、ホームページよりご確認ください。

なお、Web 配信希望の方は、**研修申込フォームからの受付のみ**とさせていただきます。ご了承ください。

1月開催

| 日時、場所 | 研修テーマ等 | 実施内容 | 定員 |
|---|--|---|--|
| 1月15日(金) 13:30~16:30 盛岡 マリオス 18階 184・185・186 会議室 | 労働衛生対策等研修 テーマ：メンタルヘルス対策4 「精神障害の特徴と対応1 (精神医学の基礎知識)」 ①うつ病 ②双極性障害 ③統合失調症 講師：産業保健相談員 青木 慎一郎 【岩手県立大学健康サポートセンター 特任教授、 労働衛生コンサルタント、認定産業医】 | うつ病、双極性障害、 統合失調症の特徴と対応方法について研修を行います。 | 会場 30名 Web 配信 30名 |

| 日時、場所 | 研修テーマ等 | 実施内容 | 定員 |
|--|---|---|---------------------------|
| 1月19日(火) 13:30~16:30 盛岡 マリオス18階 188会議室 | 労働衛生対策等研修 テーマ：産業保健活動について2 ①産業医の活用セミナー 【神田社会保険労務士事務所 社会保険労務士】 講師：産業保健相談員 神田 永子 ②衛生委員会の活用セミナー 講師：産業保健相談員 関向 和明 【岩手県予防医学協会 健康推進部長、 労働衛生コンサルタント】 | 産業医は「選任しなくては いけないと言われたからお願い しているけれど何をしてく れる人なのかわからない。」な ど、悩んでいる事業者や人事 担当者に産業医とはどのよう な役割をし、活用したら事業 場にとって有益になるか、ま た、衛生委員会の活用化につ いて研修します。 | 会場 20名 Web配信 20名 |
| 1月25日(月) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 803会議室 | カウンセリング研修Ⅳ テーマ：職場で使えるコミュニケーションスキル 「傾聴」その4 講師：産業保健相談員 今松 明子 【精神保健福祉士、産業カウンセラー】 | 5回シリーズで実施する 4回目。相手が何を考えて いるのか、何を相談したい のかを確認した上で、積極 技法、指示技法などを用い 論理的帰結に導く、カウ ンセリングの核心にせまる 研修です。 | 20名 |

2月開催

| 日時、場所 | 研修テーマ等 | 実施内容 | 定員 |
|--|--|--|---------------------------|
| 2月12日(金) 13:30~16:30 盛岡 マリオス18階 184・185・186 会議室 | 労働衛生対策等研修 テーマ：メンタルヘルス対策5 「精神障害の特徴と対応2 (精神医学の基礎知識)」 ①適応障害と不安障害 ②発達障害 講師：産業保健相談員 青木 慎一郎 【岩手県立大学健康サポートセンター 特任教授、 労働衛生コンサルタント、認定産業医】 | 適応障害と不安障害、 発達障害の特徴と対応 方法について研修を行 います。 | 会場 30名 Web配信 30名 |
| 2月15日(月) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 803会議室 | カウンセリング研修Ⅳ テーマ：職場で使えるコミュニケーションスキル 「傾聴」その5 講師：産業保健相談員 今松 明子 【精神保健福祉士、産業カウンセラー】 | 5回シリーズで実施する「傾 聴」最終回。基本スキルとし ての傾聴の技法などのとりま とめ、相手が自分自身に対す る理解を深め、前向きな言動 がとれるようになるようなス キルが中心となる全般のとり まとめについて研修します。 | 20名 |
| 2月18日(木) 13:30~16:30 盛岡 岩手教育会館 カンファレンスルーム 200 | 治療と仕事の両立支援研修 テーマ：治療と仕事の両立支援の進め方 ①両立支援におけるコーディネーターの役割 講師：産業保健専門職 萩野 とも子 【岩手産業保健総合支援センター 保健師】 ②事例検討(実際の支援事例から) 講師：両立支援促進員 福島 ナルミ 【保健師】 | 両立支援におけるコー ディネーターの役割とし て、事例の対応方法と留意 点について学びます。ま た、検討事例を通して、事 業所と医療との連携方法 について多職種間で意見 交換を行い、より実践的な 支援方法を学びます。 | 20名 |



(注) 研修については、実施内容、講師等について、予告することなく変更する場合があります。
当センターのホームページでご確認ください。QRコードからどうぞ。

2. ご利用案内

■ 「岩手産業保健総合支援センター」をご利用ください。

≫≫ 「**産業保健関係者に対する専門的研修**」を実施しております。
岩手産業保健総合支援センターでは、産業医、産業看護職、衛生管理者等を対象として、産業保健に関する様々なテーマの研修を実施しています。
研修スケジュールにつきましては、当センターホームページ等でご確認ください。

≫≫ 「**個別訪問支援**」をお受けしております。(※無料です。謝金・交通費等は一切いただきません。)
メンタルヘルス対策や化学物質対策等の職場環境改善等について専門員が皆様の事業場に直接赴き、問題点について意見交換しながら、現場の状況に応じた改善方法等をアドバイスしております。
お問い合わせは、当センターまでお願いいたします。

≫≫ 「**治療と仕事の両立支援**」をご利用ください。
「がん」などの長期治療が必要な労働者が、就労を継続するために必要なアドバイス等について、事業場・労働者に対する専門的相談や個別訪問支援を行います。出張相談窓口も開設しております。
お問い合わせは、当センターまでお願いいたします。

≫≫ 「**産業保健関係助成金**」をご利用ください。
「治療と仕事の両立支援助成金」の取扱いを行っています。
詳しくは、[「産業保健関係助成金」](#) で検索してください。

岩手産業保健総合支援センター

電話 019-621-5366 / FAX 019-621-5367
URL <https://www.iwates.johas.go.jp/> E-mail iwate@iwates.johas.go.jp



■ 「地域産業保健センター」をご利用ください。

≫≫ 地域産業保健センターでは、労働者50人未満の事業場を対象に、健康相談、長時間労働者の面接指導、ストレスチェックの高ストレス者の面接指導を無料で行なっています。
また、健康対策等の御相談について直接事業場の状況を見ながら、改善のアドバイスも行っています。
お問い合わせは、お近くの各地域産業保健センターまでお願いいたします。

【地域産業保健センター 一覧】

| | | | |
|------------------|----------|--------------------------------------|--------------|
| □盛岡地域産業保健センター | 020-0013 | 盛岡市愛宕町18-6 盛岡市医師会内 | 019-654-2164 |
| □宮古地域産業保健センター | 027-0061 | 宮古市西町1-6-2 宮古医師会内 | 0193-62-5880 |
| □釜石・遠野地域産業保健センター | 026-0034 | 釜石市中妻町3-6-10 釜石医師会内 | 0193-23-9966 |
| □遠野窓口 | 028-0522 | 遠野市新穀町1-11 とびあ2階 遠野市医師会内 | 0198-62-9182 |
| □花巻地域産業保健センター | 025-0075 | 花巻市花城町3-3 渡邊花巻ビル2階 花巻市医師会内 | 0198-22-3881 |
| □一関地域産業保健センター | 021-0884 | 一関市大手町3-40 (株) 岩手日報社一関支社ビル5F 一関市医師会内 | 0191-23-5110 |
| □気仙地域産業保健センター | 022-0003 | 大船渡市盛町字内ノ目6-1 気仙医師会内 | 0192-27-6700 |
| □二戸・久慈地域産業保健センター | 028-6101 | 二戸市福岡字八幡下11-1 二戸市総合福祉センター 二戸医師会内 | 0195-23-4466 |
| □久慈窓口 | 028-0056 | 久慈市中町1丁目37番地久慈市役所分庁舎2階 久慈医師会内 | 0194-53-0114 |